



2024年3月8日

各位

会社名 株式会社鳥貴族ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 CEO 大倉 忠司
(コード番号: 3193 東証プライム)
問合わせ先 執行役員経営管理部部長 小畑 博嗣
(TEL. 06-6562-5333)

第2四半期業績予想と実績値の差異及び 通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当・増配)に関するお知らせ

2023年9月13日に公表した2024年7月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく2023年9月13日に公表した2024年7月期の通期連結業績予想を修正するとともに剰余金の配当(中間配当)を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(2023年8月1日~2024年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,671	975	966	580	50.05
実績値(B)	20,046	1,661	1,676	1,061	91.56
増減額(B-A)	375	685	709	480	
増減率(%)	1.9	70.3	73.4	82.9	
(参考)前期実績	15,266	362	362	112	9.72

2. 通期連結業績予想の修正(2023年8月1日~2024年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,964	1,861	1,844	1,037	89.49
今回修正予想(B)	41,010	3,012	3,010	1,740	150.21
増減額(B-A)	1,046	1,150	1,166	703	
増減率(%)	2.6	61.8	63.3	67.8	
(参考)前期実績	33,449	1,417	1,429	616	53.18

3. 差異及び修正の理由

忘・新年会シーズンである第2四半期において主軸である鳥貴族の売上高が計画を大きく上回るとともに、エネルギーコストの一服感や採算管理の徹底等により販売費及び一般管理費が計画比で下振れしたため、各段階利益が前回予想を上回りました。通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績や足もとの既存店売上等を考慮し、売上高及び各段階利益を上方修正いたしました。

4. 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2023年9月13日公表)	前期実績 (2023年7月期中間)
基準日	2024年1月31日	同左	2023年1月31日
1株当たり配当金	6円00銭	4円00銭	4円00銭
配当金総額	69百万円	—	46百万円
効力発生日	2024年4月5日	—	2023年4月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

5. 理由

当社は、毎期の業績、財政状況を勘案しつつ、将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを図りながら配当による株主還元を安定的かつ継続的に実施する方針としております。2024年1月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）については、事業の動向や業績等を勘案し、前回公表の1株当たり4円00銭から2円00銭増配し、1株当たり6円00銭といたしました。これにより、年間の配当金は期末配当予想と合わせ1株当たり12円00銭となる予定です。

※ 上記の業績予想及び配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上